



学校だより

やさとっ子

四日市市立八郷小学校

第 18 号

令和 4年 9月 9日

めざす子どもの姿：かしこい子 あたたかい子 たくましい子

あす がつとおか つきみ
明日9月10日は、お月見

さんこう こくりつてんもんだい
参考:国立天文台HP

「中秋の名月」とは、旧暦の8月15日の夜に見える月のことを言います。

中秋の名月に「お月見」をする習慣は、平安時代に中国から伝わったそうです。日本では、農業の行事と結びつき、「芋名月」と呼ばれることもあります。収穫した里芋などをお供えして収穫のお祝いやお礼をしたのですね。どんな様子だったか、学習資料室前に再現してもらいました。みなさんのお家の中にも、このように、すすきやだんご、芋などを飾ってお月見をするところがあるかもしれません。

地域によっては、この日に限って、お供えのだんごや芋を盗んでもよい「お月見泥棒」という風習があります。八郷地区にもあると聞きました。近年は、泥棒に来る子どもたちのために、持ち帰りやすいお菓子を用意してくださるお家がたくさんありました。でも、コロナ禍では、よそのお宅に出入りすることや食べ物をやり取りすることは控えた方がよいということで、このような風習はあまり見られなくなってしまいました。

今年は、10日がちょうど満月になるので、大きなまるい月が見られます。天気の良い日は、日が沈んだら東の空から上る月を見てみましょう。

いねか
稲刈り

なつやす お たいけんのうえん いね こがねいろ た
夏休みも終わりにになると、体験農園の稲が、黄金色のこうべを垂れていました。

たいふう ちか ふうう せんじつ きゅう いねか
台風が近づいていたこともあり、風雨にさらされるといけないので、先日、急きよ、稲刈りをするようになりました。

ねんせい かま つか か と たいけん きかい か ようす
5年生が、鎌を使って刈り取り体験をすることはできませんでしたが、機械刈りの様子を見せていただきました。

ちいき かた せわ
地域の方にお世話になりました。ありがとうございます。

いのちをつなぐ～9月9日は救急の日

もしも、学校で、あるいは登下校の途中で、誰かが、倒れてしまったら？！

誰もが、あわてたり、驚いたりして固まってしまうかもしれません。

でも、命の危険につながりますから、近くにいる人で何とかしなくてははいけません。

そんなときは・・・

①「大丈夫？」「大丈夫ですか？」と声をかける。⇒返事がない！

②「助けて！！」「手伝ってください！」と大声で人をよぶ。

③「119番、救急車を呼んでください。」と頼む。

救急車を呼んでください。ただだと、あわてているときは、あれ？何番だったかな？

110番かな？とわからなくなってしまうので、「119番」も伝えます。

④「AEDを持ってきてください。」と頼む。

学校のAEDは、職員室と体育館のガラス戸の玄関外の2か所にあります。市民センターのような公共の建物にもあります。どんなところにあるか、見つけておくといいですね。

⑤呼吸をしているか確かめる。

胸とおなかの動きを見ます。

⑥呼吸がないとき、心臓マッサージ（胸骨圧迫）をする。

心臓は、体中に酸素や栄養を届ける血液のポンプです。そのポンプの役割が続くように、心臓マッサージ（胸骨圧迫）をします。

元気な人には絶対にしてはいけません。

6年生は、ビデオを見た後、心臓マッサージ（胸骨圧迫）のやり方を教えてもらって、体験キットを使い、やってみました。

9月の保健指導は、学年に応じて、自分でできるけがの手当てや血液の働きなどを学習しています。

命を守るために、自分でできること、人のためにできることを学んで、いざというときに備えてほしいと思います。